

市町村名	那覇市
------	-----

**沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】**

事業名	那覇市営奥武山体育施設照明設備及びスコアボードLED化整備事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(1)-ア 脱炭素島しょ社会の実現に向けたエネルギー施策の推進
担当部課名	生涯学習部	市民スポーツ課	事業実施 年度	令和 4 ~ 令和 5 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所
					Ⅲ-10-(1)

**事業内容**  
照明設備のLED化により省エネ化を図るとともに、スコアボードフルLED化によりイベント開催のための機能強化を行い利用者増を図る。

**実施方法** ■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他( )

事業期間中の 予算額 ・執行額 【単位:千円】		令和4年度	令和5年度	○年度	○年度	合計
	A. 予算現額		7,689	874,308		
B. 執行済額		7,689	874,308			881,997
うち 交付金充当額		6,151	699,446			705,597
執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%			100.0%
執行状況の説明	・最終的な執行率は100%となり、計画的に執行できた。					

事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
		令和4年度	令和5年度				
	照明設備LED化及びスコアボードフルLED化整備工事の実施	目標	設計業務	整備工事			
		実績	設計業務	整備工事			

事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
		令和4年度	令和5年度				
	照明設備LED化及びスコアボードフルLED化整備工事の完了	目標	設計業務完了	整備工事完了			
		実績	設計業務完了	整備工事完了			

**事業完了後の取り組み**

事業完了後の成果目標	成果目標(指標)	達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果	令和6年度				
	・二酸化炭素排出量削減効果 15t以上	目標	15t以上			
		実績	14.8t			
	・野球場利用者数 320,000人	目標	320,000人			
		実績	352,787人			
状況説明	【令和6年度】 ・二酸化炭素排出量削減効果は目標値にわずかに届かなかった。 ・野球場利用者数は目標値を上回った。					

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
---	--------------------------------

<p>【R6年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二酸化炭素排出量削減効果目標値に届かなかったものの、施工前の照明設備と比較し1時間当たりの消費電力は約57%削減できている。</li> <li>・野球場利用者数については、5月に開催されたプロ野球公式戦の観客動員数も令和5年度開催時より伸びていることからスコアボードフルLED化の効果があったものと考えられます。</li> </ul>	<p>【R6年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こまめな消灯等を通し、二酸化炭素量排出量の削減に取り組む必要がある。</li> <li>・スコアボードの利用について、野球以外での利用を促す必要がある。</li> </ul>
---	---

**今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)**

<p>【R6年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こまめな消灯等を徹底することにより、施設全体の二酸化炭素排出量の削減を図る。</li> <li>・スコアボードの利用について、野球以外でも利用できることを施設管理者のHP等で周知する。</li> </ul>
---

市町村名	那覇市
------	-----

**沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】**

事業名	文化芸術拠点施設整備事業（壺屋焼物博物館展示室環境整備）			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-ア 沖縄文化の継承・発展・普及	
担当部課名	市民文化部	文化財課	事業実施 年度	令和 4 ~ 令和 5 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(3)

**事業内容**  
音声・映像等を活用した解説環境を整備することにより、壺屋焼物博物館の常設展示の多言語化及びユニバーサルデザイン環境を推進し、もってポストコロナにおける外国人観光客を含む多様な観覧者への発信を強化する。

**実施方法**  
 直接実施     委託     補助     負担     その他( )

事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		R4年度	R5年度			合計
	A. 予算現額		14,470	6,010		
B. 執行済額		14,453	6,009			20,462
	うち 交付金充当額	11,562	4,807			16,369
	執行率(%) (B/A)	99.9%	100.0%			99.9%
	執行状況の説明	公募型プロポーザルにより事業者を選定。 残額は選定事業者と業務委託契約を締結した執行残であり、事業については当初の計画通りに行われた。				

事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
		R4年度	R5年度			
映像解説・映像シアター制作	目標	制作				
	実績	制作完了				
音声ガイドの製作	目標		製作			
	実績		製作完了			

事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
		R4年度	R5年度			
映像解説・映像シアター制作の完了	目標	配備完了				
	実績	配備完了				
音声ガイドの製作の完了	目標		運用開始			
	実績		運用開始			

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		R6年度 目標/発現年度	○年度	○年度	○年度	○年度
	【後年度】 アンケートによる映像解説・映像シアターの満足度(80%以上)等		目標	満足度 80%以上			
		実績	満足度 91.9%				
状況説明	【R6年度】 ・令和6年4月から11月までアンケートを実施した結果、映像解説・映像シアターの満足度80%以上(91.9%)を達成した。 (令和6年12月から令和7年3月までは、施設の機能強化工事のため休館)。						
	【 年度】 .						
	【 年度】 .						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R6年度】 前年度の同時期に回収したアンケートより満足度が向上した。 ※R5:80% ⇒ R6:91.9%			【R6年度】 ・音声ガイドの写真画像の説明について改善を検討した。 ・アンケート調査回収方法について2次元バーコード取得により入力できるよう改善を図った。				
【R 年度】			【R 年度】				
【R 年度】			【R 年度】				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
【R7年度】 ・音声ガイドについて、今後も必要に応じて内容のブラッシュアップを図る。							
【 年度】 .							
【 年度】 .							

市町村名	那覇市
------	-----

**沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】**

事業名	11-5 災害に強い塵芥収集運搬業務体制強化事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(4)-イ 大規模災害等に備えた強くしなやかな 県土づくりの推進	
担当部課名	環境部	クリーン推進課	事業実施 年度	令和 5 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-10-(3)

**事業内容**  
 収集業務に関わるIP無線機を35台購入する事業  
 ごみ収集車両では連携して業務を行うためにアナログ無線機を使用しているが、天候や地形等による影響で通信障害が発生し、業務に支障がでている。  
 天候や地形等に影響されないIP無線機へ置換えることで、通信手段が強化され、通常業務並びに災害時においても迅速かつ確実な連携による収集体制が確立し、安心・安全な観光まちづくりに寄与する。

**実施方法**  
 直接実施     委託     補助     負担     その他( )

事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】	R5年度					合計
	A. 予算現額	6,715				
B. 執行済額	5,557					5,557
うち 交付金充当額	4,444					4,444
執行率(%) (B/A)	82.8%					82.8%
執行状況の説明	予算額と執行済み額の差は、入札差額及び費用差額によるものである。					

事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
		R5年度				
IP無線機入札・契約・検品	目標	IP無線機35 台の購入				
	実績	IP無線機35 台の購入				
次年度当初からの運用に向けたマニュアル 等の策定	目標	マニュアル 策定等策定				
	実績	マニュアル 策定等策定				

事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
		R5年度				
試用期間中に不通となる件数:0件の達成	目標	不通0件				
	実績	不通0件の 達成				

**事業完了後の取り組み**

事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		R6年度 目標/発現年度	○年度	○年度	○年度	○年度
事業完了後の成果目標	【R6成果目標】 災害時に不通となる件数:0件	目標	不通0件				
		実績	不通0件				
		目標					
		実績					
状況説明	【R6年度】 ・災害時に不通となる件数:0件（通常時にも不通となる件数0件であった。）  【 年度】 ・  【 年度】 ・						
<b>【完了後】事業効果等の確認</b> (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			<b>【完了後】改善措置等の検討</b> (事業効果の更なる向上等)				
【R6年度】 ・旧アナログ無線機を使用していた際には、地形や天候等による不通が頻発していたが、IP無線機へ置き換えすることによって、不通となった報告がゼロであった。  【 年度】 ・  【 年度】 ・			【R6年度】 ・本事業により通常時から災害時においても迅速な塵芥収集運搬業務を行える連絡体制の環境整備がなされ、課題解決に至った。  【 年度】 ・  【 年度】 ・				
<b>今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)</b>							
【R7年度以降】 ・本事業で導入したIP無線機を活用することで、災害時においても迅速な塵芥収集運搬業務を行う。  【 年度】 ・  【 年度】 ・							